

宮井孝和さんが手に乗せて見せてくれた天然遡上でプロポジションがきれいなアユ

# 四季折々の友釣りが楽しめる穏やかな流れの中河川

ありだ が わ

# 有田川ダム下

大型こそ少ないが豊富な天然遡上と放流量で5月1日の早期解禁日から10月末の終盤まで中小型の数釣りができる。京阪神からも近いため、どっとファンが押し寄せるポイントに困らないうれしい川！

解説◎宮井孝和 & 下田成人

(宮井孝和=すべての本文とエリア4のポイント写真解説。下田成人=エリア1~3のポイント写真解説)



「こんなアユが釣れますので、ぜひ釣りに来てください！」と下田成人さん

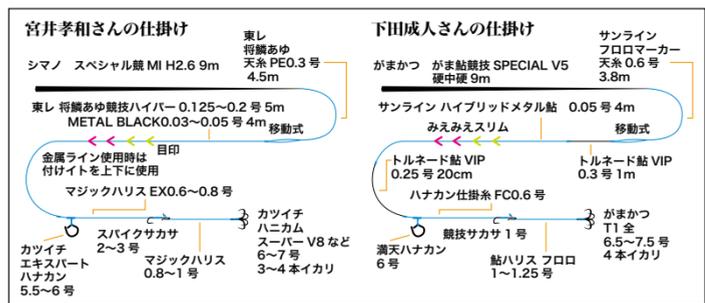


エリア4の駅裏で、お目当てのポイントをめざす宮井さんと下田さん

撮影は2013年10月14日。サイズは22cmぐらいまでだが、この時点でもまだまだアユは若い。この日もめばしいポイントは多くの釣り人で賑わっていた

放流量も豊富で初期は放流アユ、中期からは天然ものもターゲッとなり、季節に応じた友釣りが楽しめる河川である。地元和歌山に加え京阪神からの釣り人も多く、川口の白石の瀬まで有田ICから車で25分、大阪市内からでも1時間半で釣り場に到着する。近年は全国レベルの友釣り競技会が開催されている関係で、遠くは関東地方、中部地方、四国地方、中国地方などからのトップクラスの釣り人の姿も見ることができ。アユのサイズは遡上量によって違い、当然遡上量が多い年は小型が多くなり、逆に遡上が少ない年はサイズがよい。平均的には14~22cmで26cmを超すような大型はあまり期待できない。というよりも穏やかな中小河川であるがゆえにサオ抜けのポイントがほとんどなく、魚が大きく育つまでに釣られてしまふからだろう。早期解禁日は全国トップの5月1日で終盤も台風の影響で増水しない限り10月20日ごろまで充分友釣りが可能。遅い時期まで楽しめるのは天然遡上さまで特に出るには想定外の数釣りができる。このように半年近くもアユ釣りができる河川は他県にもそう多くないはずだ。有田川だけではないと思うがアユ釣りに必要な駐車スペースの問題がある。特に消防用道路はその地域で火災が発生した際に消防車が降りられるようにしたものなので、絶対に駐車しないようにお願いしたい。

最後に私とエリア1~3のポイント写真の解説をお願いした下田成人さんの仕掛けと有田川攻略方法について。私の場合、初期から梅雨明けまでの水量が多く低水温の時期は金属や複合メタル水中イトを使用するパターンが多い。これは初期のアユはナワバリを持つ



## 全国トップの5月1日解禁！

有田川の二川ダムより下流域を釣り人は有田川ダム下と呼ぶ。規模的には中小河川で大滝など岩が粗く急流の場所もあるが、流れはおおむね穏やかで女性でも安心して釣りができる場所が数多くある。たとえば上流からあげると栗生から川口地区、松原地区から下流など。アユは天然遡上に加えて



有田ICを降りてすぐにいろいろなポイントにアクセスできる。有田川のダム下エリアは、京阪神からも近く天然遡上が多いため10月下旬まで友釣りが楽しめる